

レジャーダイビング認定カード普及協議会  
(Cカード協議会)

2016年3月定例会議事録

- ◎ 開催期日：2016年3月17日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	飯島	あゆみ
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆KD JAPAN	関西潜水連盟	松村	卓也
☆NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	和泉	芳則
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本	康男
☆オブザーバー	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨
	JRDA	有原	義則
	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久
	DANジャパン	小松	富士夫

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① JRDA依頼事項

- JRDAが実施しているダイバー向けアンケート調査の結果について
  - ・ 初めに、JRDAが実施しているダイバー向けアンケート調査の結果について有原氏より報告があり、当該調査結果からは現場での安全管理は概ね良好な状況が読み取れるが、器材のメンテナンスに若干の課題が見受けられたため、スクーバ協会へ改善依頼をする旨の説明があった。
  - ・ 有原氏の報告では、同アンケートに関し、ダイバーの回答実績からアンケートに協力している指導機関と実績がまったく無い指導機関があり、実績の無い指導機関に対し改めて理解と協力が求められた。
- 酸素の使用について
  - ・ 有原氏より、「事故時の酸素使用を促進するため、JRDAでは酸素の使用に関するQ&Aを周知することを検討する」との説明があった。
  - ・ 当該Q&Aは厚労省の高圧則を基に作成中との説明が加えられた。
- 「ガイドダイバーの役割」、及び「ダイバーの心得」について
  - ・ 「ガイドダイバーの役割」、及び「ダイバーの心得」の周知資料をマリンドイビングフェアで配布する予定で、C協加盟組織から増刷の希望があれば有償で制作するが如何かとの問いがあり、C協加盟組織はこれを検討の上、必要数を後日JRDAに知らせることとなった。

② 2016年ダイバー自身の安全対策セミナーについて

- 事務局より2016年ダイバー自身の安全対策セミナーの日程について、5月28日（土）と11月26日（土）で開催するとの提案があり、出席者の承認を得た。
- 今期のセミナーの内容について、各講師がそれぞれの思惑でプレゼンテーションを組み立てるのではなく、テーマを絞り同じテーマについて保安庁、DAN、C協のそれぞれの役割を踏まえた構成にしたいとの意見があり、今後事務局がテーマの提案及びC協のプレゼン内容を提案していくこととなった。

③ その他

- 静岡県ダイバーズ協議会我妻氏より、同協議会理事長の交代について報告があった。
- 事務局より、身体障害者専用のオールインクルーシブマリリゾート施設（奄美大島）のチラシが配布され、中野会長より同施設について説明があった。
- 事務局より、エレコム株式会社から発売された防水レーザーポインターのチラシが配布され、SSI栗山氏から簡単な説明があった。

以上